



注意事項と制約事項

- [注意事項と制約事項, on page 1](#)

注意事項と制約事項

Cisco DCNM をインストールおよびアップグレードのガイドラインと制限は、次の通りです。

一般的なガイドラインと制限事項

- 次のパスワード要件に従います。要件に従わない場合、DCNM アプリケーションは適切に機能しない場合があります。
 - 最小でも 8 文字を含み、1 個のアルファベットと 1 個の数字を含む必要があります。
 - アルファベット、数字、特殊文字（-_#@&\$ など）の組み合わせを含むことができます。
 - DCNM パスワードにこれらの特殊文字を使用しないでください。 <SPACE> " & \$ % ' ^ = < > ; : ` \ | / , . *`
 - Cisco DCNM リリース 11.0(1) から、管理パスワードに許可されている文字は、OVA および ISO インストールに制限されています。従って、アップグレード中に、DCNM 11.0(1) または 11.1(1) に使用されている古いパスワードは無効です。ただし、アップグレード中は別のパスワードが許可されています。

入力されている新しい管理パスワードは、次のシナリオで使用されています。

—コンソールを経由して DCNM アプライアンスにアクセスします。

—SSH を経由してアプライアンスにアクセスします。

—アプライアンスで実行されているアプリケーション（例：Postgres DBMS）

ただし、アップグレード後 Postgres DBMS は DCNM 10.4(2) で取得されているバックアップから復元されているため、DCNM リリース 10.4(2) で使用されているパスワードを使用して、Cisco DCNM Web UI にログオンする必要があります。

- DCNM をインストールするときに、起動プロセスを中断しないでください (Ctrl+ALT + DELETE キーを押すなど)。中断する場合は、インストール プロセスを再起動する必要があります。
- インストールまたはアップグレード後、そして Cisco DCNM アプライアンスでその他の操作を実行する前に、タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの設定には NTP サーバを使用します。
- ネイティブ HA セットアップで実行中の Postgres データベースのステータスを確認するには、**pg_ctl** コマンドを使用します。**systemctl** コマンドは使用しないでください。
- ハッシュ (#) 記号でパスワードを開始しないでください。Cisco DCNMは、# 記号で始まるパスワードを暗号化されたテキストと見なします。
- 基盤となるサードパーティ ソフトウェアを個別にアップグレードしないことを推奨します。必要なソフトウェア コンポーネントはすべて、インラインアップグレード手順で更新されます。DCNMアップグレードの外部のコンポーネントのアップグレードは、パフォーマンスの問題を生じさせます。

新規インストール

- 仮想アプライアンス (OVA/ISO) の場合、インストーラはオペレーティング システムと Cisco DCNM コンポーネントをインストールします。
- DCNM OVA は、vSphere クライアントを ESXi サーバに直接接続することで展開できます。